



定部金貳錢
一ヶ月廿錢
三ヶ月五拾錢
半年九拾錢
一年一圓
廣告費
五號十二
字詰一行
料五十五錢
印刷費
日刊
日曜大衆
福島縣石城郡平町長崎町三五
發行所 常盤 毎日新聞社
電話六三〇番

刊夕日五十二月六

常盤論壇
人口調節と移民の價值 (九)
布川 靜淵

惟ふに之を奨励するもの先づ自ら範を垂るゝ要なきか低級の輩等が超然として貧民救済に類する口吻を以て、移民は人口調節上必要なりとて巡回講演を試み、以て事足りしとするに至つては、不遜の極みである。人口調節の趣旨を以て移民を奨励する如きは、近代史上の事實を無視し、人口運動の法則を蔑如するものであり、一時國民を瞞着するに止まり、格段の效果なき

ものである。近時移民によりて人口を調節し得たる如き實例何處にありや。縦令實例なしとするも之を行ふて調節し得れば洵に新發明として嘉みするに足るも、事實に於て不可能なるを如何せんや。歴史上に於ける民族大移動又は未開時代の團體的轉任の事實を以て之を國民主義の現代に應用するは誤りである。現に英領を始の米國其他に於ける移民排斥の事實に顧みて察すべきでないか。要するに人口調節としての移民論は現代に於ては殆んど無意味なる如きものである。

若し我が人口調節を欲せんか、一年漸く一萬二三千乃至二萬餘に過ぎざる移民數に依頼すべきでない。是れ自然増加數の七十分の一に過ぎない。夫れ移民を奨励する場合は調節云々を以てせず、須らく國力發展の意義を明かにし、國民膨脹の趣旨を以てすべく、又出稼根性を去りて新たる天地を拓く底の氣魂を以てせねばならぬ。或は商品販路擴張、或は企業參加の意志を以てすべく、調節の事實として殆んど無意味に屬することを左も効果大なる如く唱道すべきでない

(つづく)

通學ニ便利デ
經濟デ然モ堅牢ナ
防水マント

尺八寸 二、四〇〇
尺四寸 二、六〇〇
尺四寸 三、〇〇〇
尺六寸 三、四〇〇
尺八寸 三、八〇〇

女學生用モ有リマス

に鶴屋商店
電話百四十番

涼しい夏服!!
夏服は斯界に定評ある正札堂の既製品を召し下さい。

アルバカ上衣 ▲ 安うり
白セルズボン ▲ 早うり
黒セルズ上衣 ▲ 早うり
パンピース上下
ヘイヤクロス上下
霜降學生服
其他外皮類
平町四丁目停車場通
正札堂洋服店
電話呼出二三四番
須藤 房 教

余釀造元
清酒 **鶴仙**
石城郡平窪村
松吉屋本店
電話二四一番

平町紺屋町(縣社通り)
美味評判 **イウキ食堂**
オの部電話四六〇番

家賃
新川町十七番地 表通商店向
新川町十八番地 裏家二戸庭
新川町 中野勇吉

有聲座
電話四四六番

黒髪地獄 前篇
市川右太衛門第一回入社作
活劇 強カエルモ 第九十篇

廿五日より差替
紋十郎主演
時代劇曲者は誰れ前篇
濱田格、杉村千恵子主演
現代 **ダイヤモンド光** 卷全

クースーリ
良伴ヲ安クシ
関内藥舖
藥劑師 関内栄助
電話四〇番

美味しい
森永フキンガービスケット
一函六十匁入 四十錢

目丁四
ヤトモツマ
番二一四電

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平南町(電話一七〇番)

外科専門
入院應需
上田外科醫院
平町南町
電話一二九番

第十週年
たひ迎
平町信用組合
組合利用の効果は澤山にあります
精々御利用下さい
組合長 **大谷久藏**
事務所平町三丁目電話三六七番

第二病室
増設
高久病院
院長 醫學士 高久忠
副院長 新潟醫學士 赤羽清
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄
平町田町電話五一三番

麻やか廉賣
本濱
六八 七九 八十
十二.〇 九.八〇 七.九〇
最上 店服 吳井三
喜ッ幸ホロカヤ

速迅
切貨自動車
番七四話電
番七一六話電出呼
平町南町
助手數 名募集
自動車部強勉
主 芹澤正忠

十週年を迎えた 平信用組合の悦び

功勞者を表彰

平信用組合創立十週年記念祝賀式は廿五日午後一時から平町活動常設平館に於て開演定刻開演の辭に次いで組合長の式辭事業の報告功勞者に對し謝狀並に記念品贈呈をなされ續いて來賓の祝辭受賞者の答辭あり終つて餘興として活動寫眞を觀覽し閉會したが組合成績及被表彰者其他左の如くである

組合成績概要

組合は大正四年十一月御大典記念として生れ五年三月三十一日附認可當時組合員數二百三名この口數五百二十口で同年六月二十一日附設立登記完了し七月十日事業を開始した當時出資の拂込資本金は僅に二千二百七圓に過ぎなかつたが爾來十年拮据經營大に努めたる結果本年五月末の現在組合員七百八人の口數二千八百廿七口拂込現在金五萬六千三百餘圓、貯金（大正八年三月開始）は四萬一千三百餘圓貸出し金額十一萬四千四百七十餘圓に達し尙銀行預金五千八百餘圓十年間の純金二萬六千六百五十七圓餘の積立金を有してゐる

表彰者

組合長 大谷久藏（金盆）
一組一前理事 馬目雄次郎（銀洋盃一組宛）
理事 監事 谷口仁太郎、前理事 青木保太郎、前

敷地で紛擾

新築行惱む

石城郡植田町小學校は總工費十萬餘圓を投じて同町八郷に新築移轉する事に過般

逆戻りで御禮

四倉の委員達大喜びの頭株に敷へられてゐる外の存續請願のため同町々外附近町村長廿三日出縣して見るにすでに全部昇格本署となすと發表されてゐるので町長さん達喜ぶまいと早速分署昇格決定御禮の名刺を置いて引返した蓋し分署昇格御禮の也

連日のひでりに 折角の田植が無駄

雨量は例年の廿分の一 農民が騒ぎ出す

は共に某町會議員の所有地のためいろ／＼な噂を生じく物議のたねとなつた

消防用

の蒸汽ポンプを平町役場から借り受け

揚水灌漑中であるが名濱町附近五十町歩の耕地は田植が出来ないのみか水不足のため苗代が龜裂し稲苗が枯死に瀕したので百餘名の農民が騒ぎ出し種々善後策を講じた結果廿四日早朝農民數十名は同町地内

藤原川

をせきとめ十五馬力の發動機で消防用のポンプ二台を以て鮫川江筋の舊水路に揚水灌漑するとなつた小名濱側候所で濱通りの天候を聞くに例年六月中には七百六十ミリの雨量があるに本年

色めき立つ

脱獄囚の行方 目星がついた

去る二十二日午前六時午ごろ平刑務所を脱獄逃走した窃盜二年六月の囚人北海道生れ郡山市屋敷跡山口鷲次郎（三）の行方に就いて平刑務署では平署と協力連日一睡もせず捜査中であつたが咨として所在をつかみ得なかつたところ廿四日に至つて平署管内の某炭坑に潜伏中なることを探知したらし

平の金融界

平銀の放資

平地方の金融は春蘭出廻最盛期に入つたので數日前來商資金の需要旺盛となり平銀行では十貫匁に對し貸付限度六十五圓日歩三錢五厘で融通し約卅萬圓の放資ある見込みであるとなほ上半期決算のため平銀行は廿九日警城銀行は七月一日夫々重役會を開き兩行共來る七月十八日株主總會を開くが配當は前期同様九分の見込みである

修正案通り

昨日本會議で

平町の本年度戸數割賦課に關しては昨日午後二時より本會議を開き青沼委員長の報告に基き修正案通り可決確定した因に修正案に依る増額せる人員百六十一人減額せるは二百一十一人にて此金額百廿五圓卅五錢である



家庭 關

ワイシャツの洗濯（一）これから暑さに向つて、ワイシャツは直ぐ汗になつてしまひます。それを一タングリーニングへ出してやるの

では大變に不經濟です。ワイシャツは是非家庭で洗濯をするやうにしたいたもので。このごろワイシャツは夏冬ともに絹物を召す方が多いやうです。この絹物はわけなく洗濯が出来ません。もし冬は英ネル、春秋はキヤラコ夏は麻といふ風にいゝのワイシャツを用ふ

封筒の統一に努力

平郵便局長談

逓信省では事務能率増進を計り昨年中各種封筒の統一をなすべく大型縦七寸横三寸中型六寸三分に三寸小型五寸六分に三寸と定めボスターとして各郵便局

多人數の

集會所に揭示し一般の注意を促した

差出人も

なく局の方でも迷惑するやうなもの

涼味を送る

旋風機を設備

全身の中樞機關を耳にあつめて流れる汗をぬぐふ暇もない電話交換手をはじめ多くは一室にとち籠つて忙し

人達が

平の郵便局だけで百四十五人ある而も一旦この人達の能率を低下

従業員

に萬解の涼味を送る

味を送るを事はじめた氷柱をおくこと或は四倉邊に適當の間借でもして公務に差支なき限り時々海水浴を試みさせようなど、計劃中のものが二三あるらしい

發達が遅い

石城の竹林は

石城郡夏井川畔の護岸竹林を視察した平町竹林課長は

平町人事

△出生 平町 四丁 下文藏氏五男五郎
△死亡 平町 四丁 大里ヨシ子(一三)